



～世界を花で笑顔にする～

株式会社大田花き
Ota Floriculture Auction Co.,Ltd.

中期経営計画 2026.4～2029.3

- ❁ 中期経営計画 概要
- ❁ 中期経営計画 事業の基本戦略
- ❁ 中期経営計画 経営戦略
- ❁ 中期経営計画 重点戦略
- ❁ 中期経営計画 資本計画

当社グループに**株式会社東日本板橋花き**が加わったことで、取引の拡大と流通機能の高度化という従来の目標に加え、首都圏における花き流通ネットワークの高度化・広域化をさらに図ってまいります。併せて、DXの推進や業務効率化、財務基盤の強化に取り組みながら、従業員がやりがいをもって働ける職場環境づくりを進め、持続的なお成長と企業価値の向上をめざします。

✿ 基本施策 ✿

- ①取引量の拡大と流通の最適化
- ②物流品質の向上と業務生産性の改善の実現
- ③「創って作って売る」

取引量の拡大 流通の最適化

東日本板橋花き
の子会社化
物流会社・地方市場とともに
拠点連携の深化
広域集荷・広域販売
体制の構築

デジタル技術の 活用

取引の
効率化・可視化の推進
物流品質の向上
業務生産性改善の実現

創って作って売る

法人需要・日常消費の開拓
収益機会の拡大
財務・人材基盤の強化
↓
持続的成長

経営資源

営業本部

ロジスティック
本部

情報システム
本部

管理本部

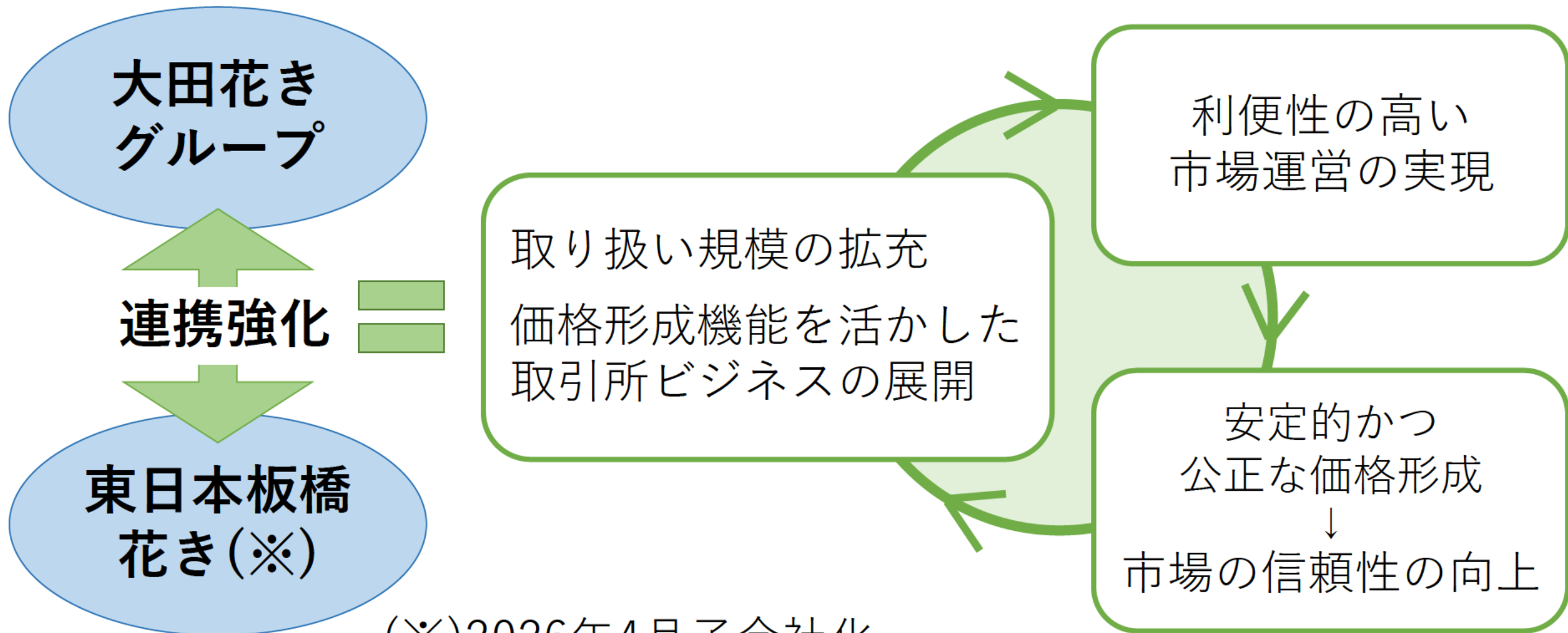
経営企画部

当社グループは日本最大の花き卸売会社大田花きを中心として、2026年4月に子会社化した**株式会社東日本板橋花き**をグループ戦略上の重要な花き卸売市場と位置付け、首都圏需要をよりきめ細かく捉える体制を構築するとともに、サプライチェーン全体の最適化を推進してシナジーの最大化を図ります。また地域特有の花き文化を尊重しつつ、日本全体の花き文化の発展に貢献してまいります。

✿ 当社グループの主な戦略テーマ ✿

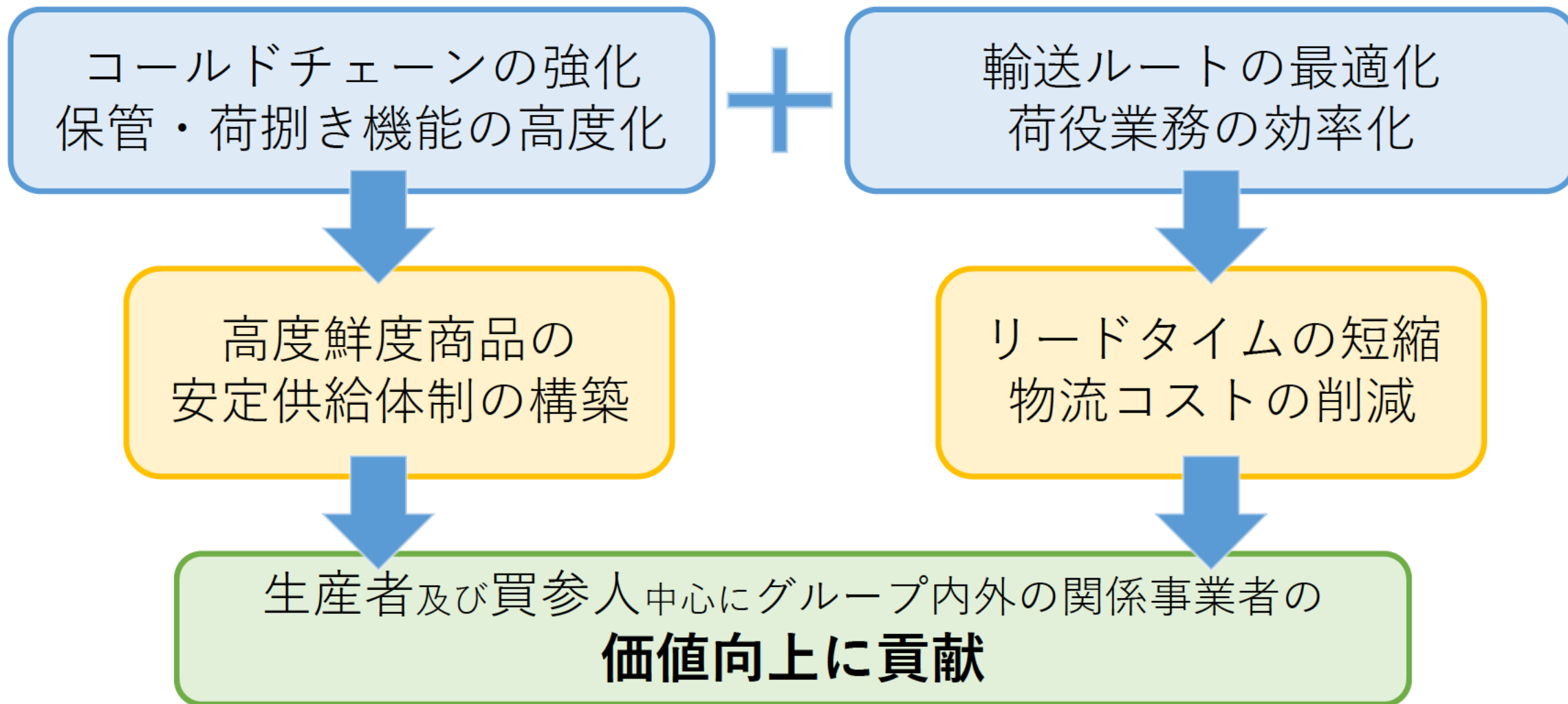
- ① 日本最大規模の花き取引所ビジネスの確立
- ② 鮮度保持機能の強化と効率的・合理的物流の実現
- ③ サプライチェーン全体を通じた相乗効果ビジネスの創出

①日本最大規模の花き取引所ビジネスの確立

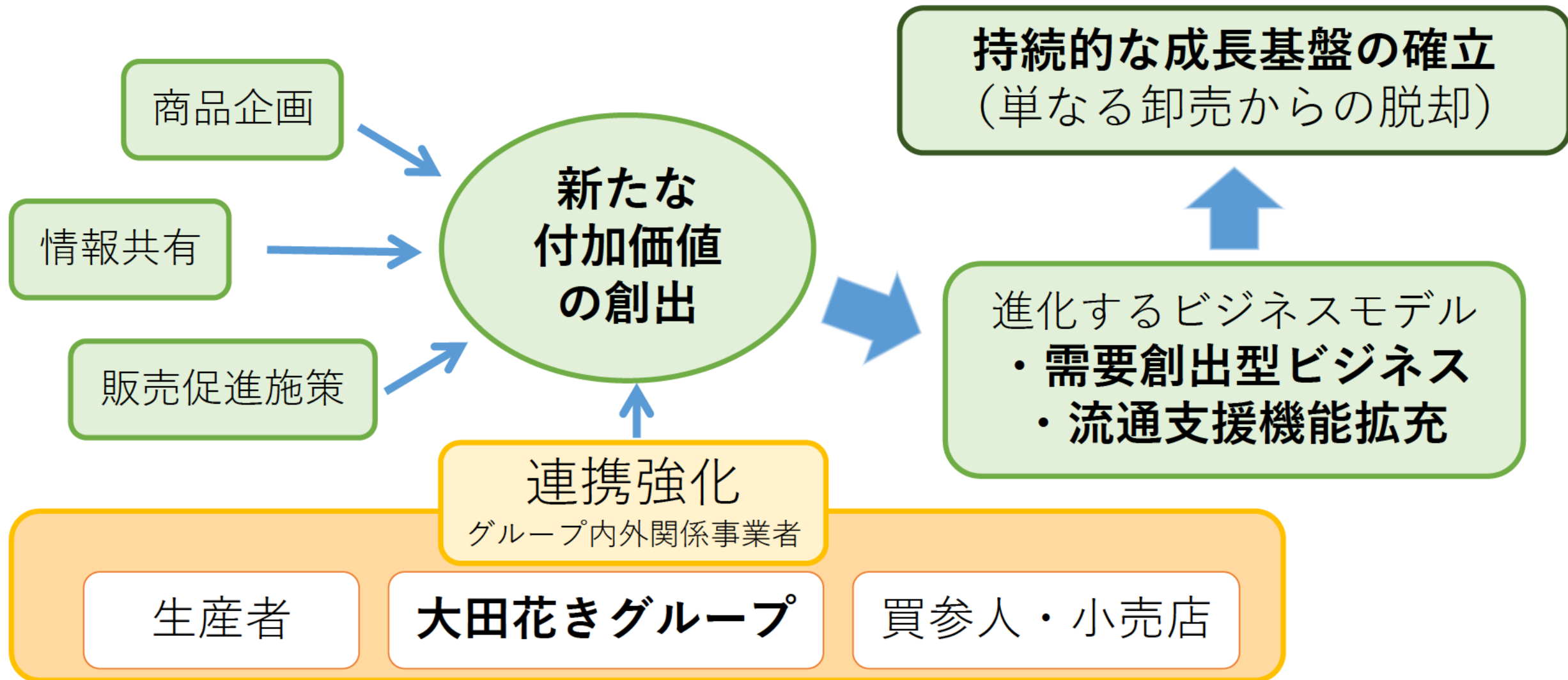


(※)2026年4月子会社化

② 鮮度保持機能の強化と効率的・合理的物流の実現



③ サプライチェーン全体を通じた相乗効果ビジネスの創出



取扱高

営業利益

(単位：百万円)

	2026年3月	2029年3月	2026年3月	2029年3月
OTA単体	27,602	32,000	11	150
OTAグループ	28,834	40,550	54	257

【今後の成長エンジン】

- ・子会社化を含む取引エリアの拡大による事業基盤の強化
- ・デジタル化の推進による流通効率の向上と競争力の強化
- ・ライフスタイル提案を軸とした新たな需要の創出

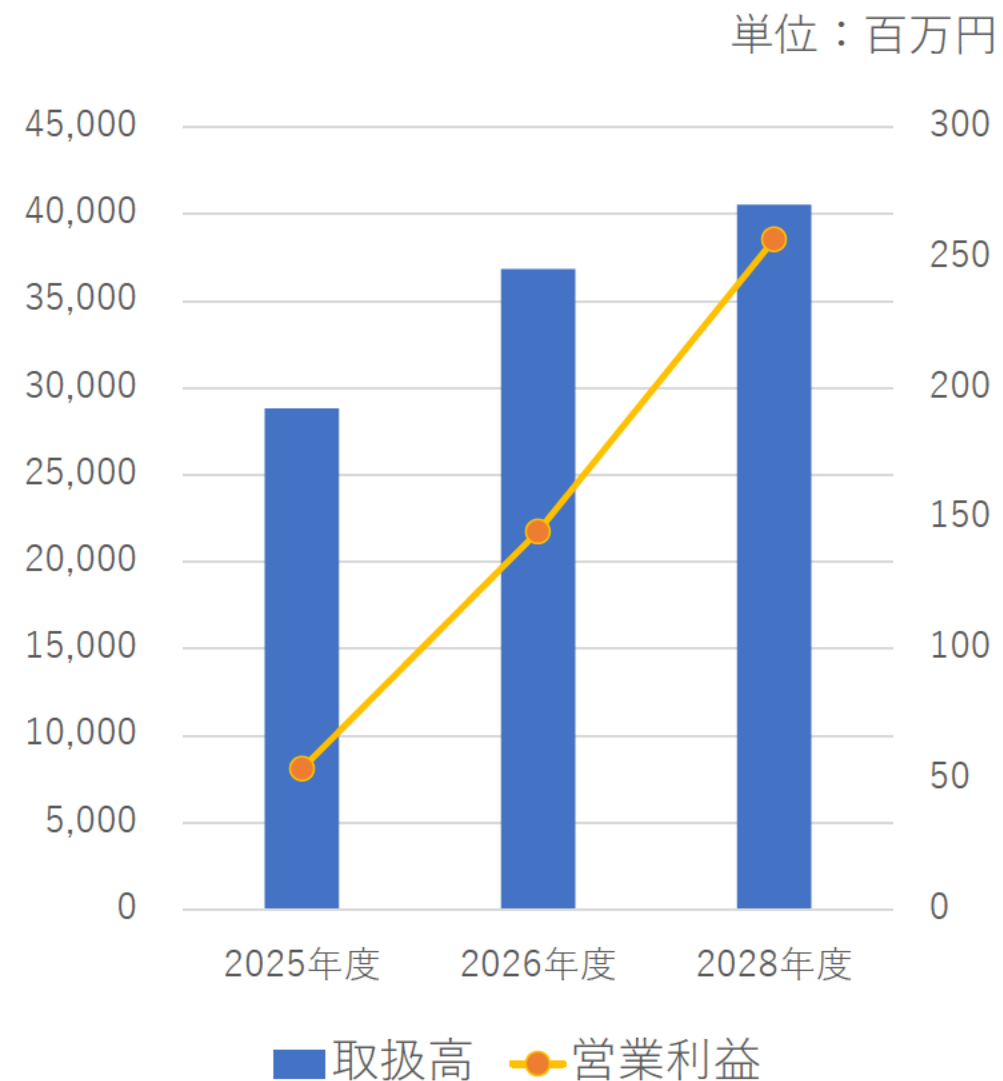
【具体的な施策】

- ・サプライチェーンの最適化による流通効率の向上
- ・DX推進による業務効率化および生産性向上
- ・消費者ニーズを的確に捉えた商品供給の強化



3か年計画

(単位：百万円)	2025年度 実績	2026年度 計画	2028年度 計画
取扱高	28,834	36,835	40,550
売上高	3,661	4,378	4,898
営業利益	54	145	257
取扱高 営業利益率	0.19%	0.40%	0.63%
当期純利益	82	154	238
ROE	1.58%	2.93%	3.64%

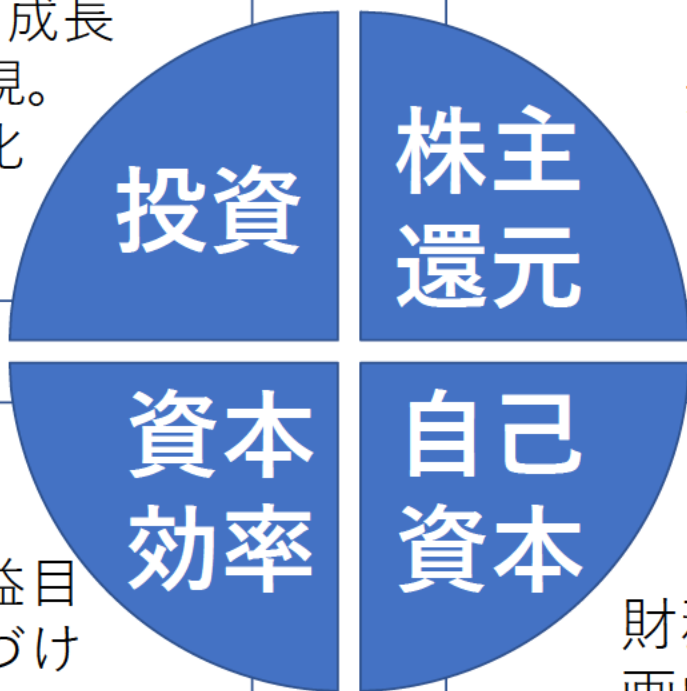


設備・人財

安定した雇用の推進
 全社員が互いに個性と多様性を尊重し、主体性をもって自己の成長機会を得られる職場環境の実現。
 設備能力維持、経営環境の変化に対応するための投資を行う。

配当

内部留保による資本充実を図るとともに、収益の動向を勘案しながら、安定した利益還元を行うことを基本方針とする。



経営管理

中期経営計画最終年度の利益目標達成を最重要指標と位置づけるとともに、投資による信用の確保と成長性を追求し、ROEを意識した経営管理を行う。

財務基盤の充実

財務基盤の充実に向けて、計画的に有利子負債の圧縮を進めるとともに、財務体質の強化を図る。

免責事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので予めご了承ください。